

EPLAN

efficient engineering.



EPLAN-News 2.9

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

GLOBAL SUPPORT



EPLAN-News 2.9

Introduction | アジェンダ

1 プラットフォーム

2 Electric P8

3 Pro Panel

4 Preplanning

5 Fluid

6 Cogineer

7 Smart Wiring

8 Field Sys

9 E-Puls

10 E-Cloud

11 E-View

12 Further News

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

GLOBAL SUPPORT

EPLAN-News 2.9

プラットフォーム→ユーザーインターフェイス→ プロパティを編集するための新しいドッキング可能ダイアログ



Benefit:



- プロパティ概要を使うと、複数のプロパティのダイアログを開いたり閉じたりすることなく、**異なるオブジェクトのプロパティ**編集がすばやくできます。
- 重要なプロパティのみが表示されるように、ドッキング可能ダイアログを**構成**できます。

プロパティ概要

機能に固有でないプロパティ

フィルター: (E)

プロパティ	値
コンポーネント <42>	
<input checked="" type="checkbox"/> 名前 (完全) <20001>	=GD2+A1-FC1
<input checked="" type="checkbox"/> 機能テキスト <20011>	🌐
<input checked="" type="checkbox"/> 技術特性 <20027>	4,5...6,3A
<input checked="" type="checkbox"/> 実装場所 (説明) <20024>	🌐
<input checked="" type="checkbox"/> 注釈 <20045>	🌐
<input checked="" type="checkbox"/> 補足フィールド [1] <20901 1>	🌐
<input checked="" type="checkbox"/> 刻印テキスト <20025>	🌐



プロパティ(グローバル)モードが有効化されていても、
プロパティ概要ダイアログで分散機能をグローバル編集することは**できません**

EPLAN-News 2.9

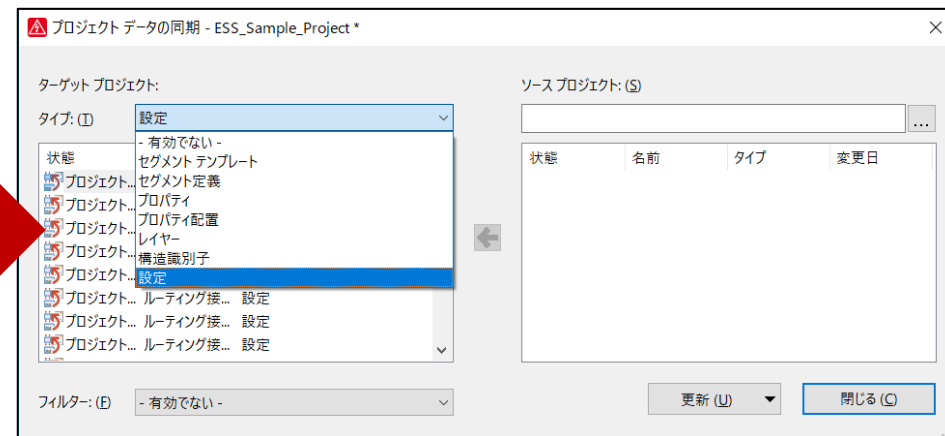
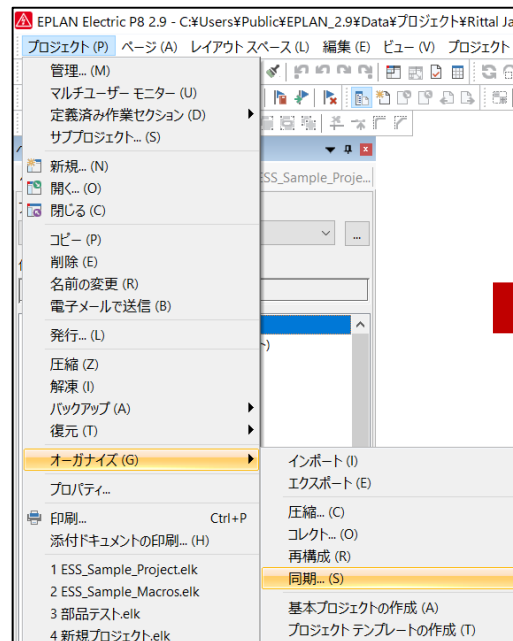
プラットフォーム → プロジェクト → プロジェクトデータの同期



Benefit:



- 新しい同期ダイアログを使用すると、**プロジェクトの設定** と **プロジェクトデータ** を他のプロジェクトから簡単に転送することができます。
- プロジェクトの手動での変更と、XMLのインポートエクスポートを介したプロジェクトのデータ交換は廃止されました。



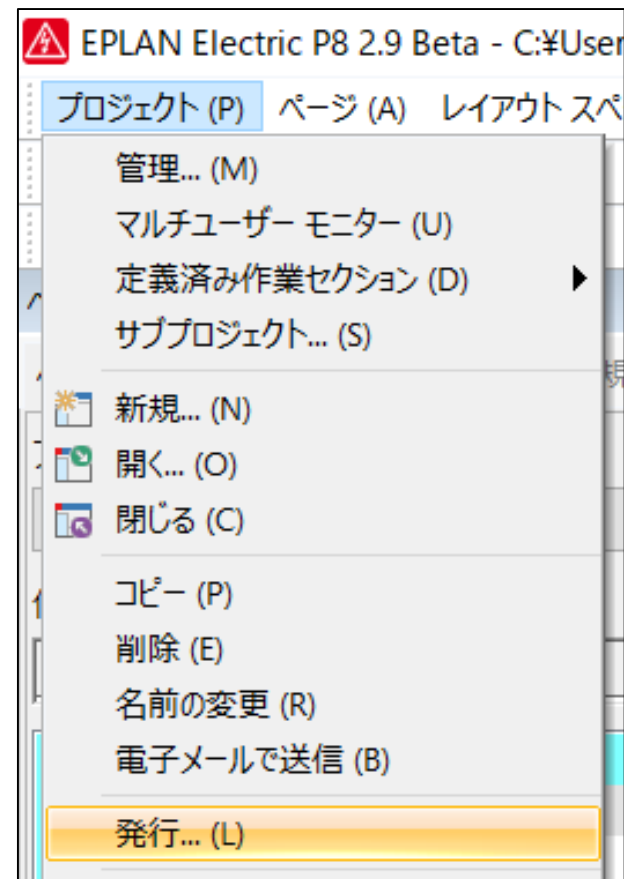
同期時に**設定**タイプのデータを選択してターゲットプロジェクトに転送した場合、そのあと、**元に戻す操作は利用できません。**

EPLAN-News 2.9

プラットフォーム → プロジェクト → EPLAN View App 用のプロジェクトの発行に変更



- メニューアイテムの **プロジェクト > 発行** は EPLAN View App のデータのみ に エクスポートされます。



バージョン 2.9 では、projects for **EPLAN Smart Wiring** のプロジェクトは別のメニュー項目を介してエクスポートされます。

EPLAN-News 2.9

プラットフォーム → ページ → ページコピー中のページ説明の変更




Benefit:



- コピーしたページを挿入するときページ説明を直接適合できるようになりました。後からページを処理は必要ありません。

構造の適合

ページ | DT |

ソース					ターゲット					
=	+	ページ名	補足フィールド: シート番号	ページ説明	上書き	=	+	ページ名	補足フィールド: シート番号	ページ説明
		1		DXF/DWG	<input type="checkbox"/>			1		 DXF/DWG



ページ説明のページプロパティを再度開く時間を短縮します。

EPLAN-News 2.9

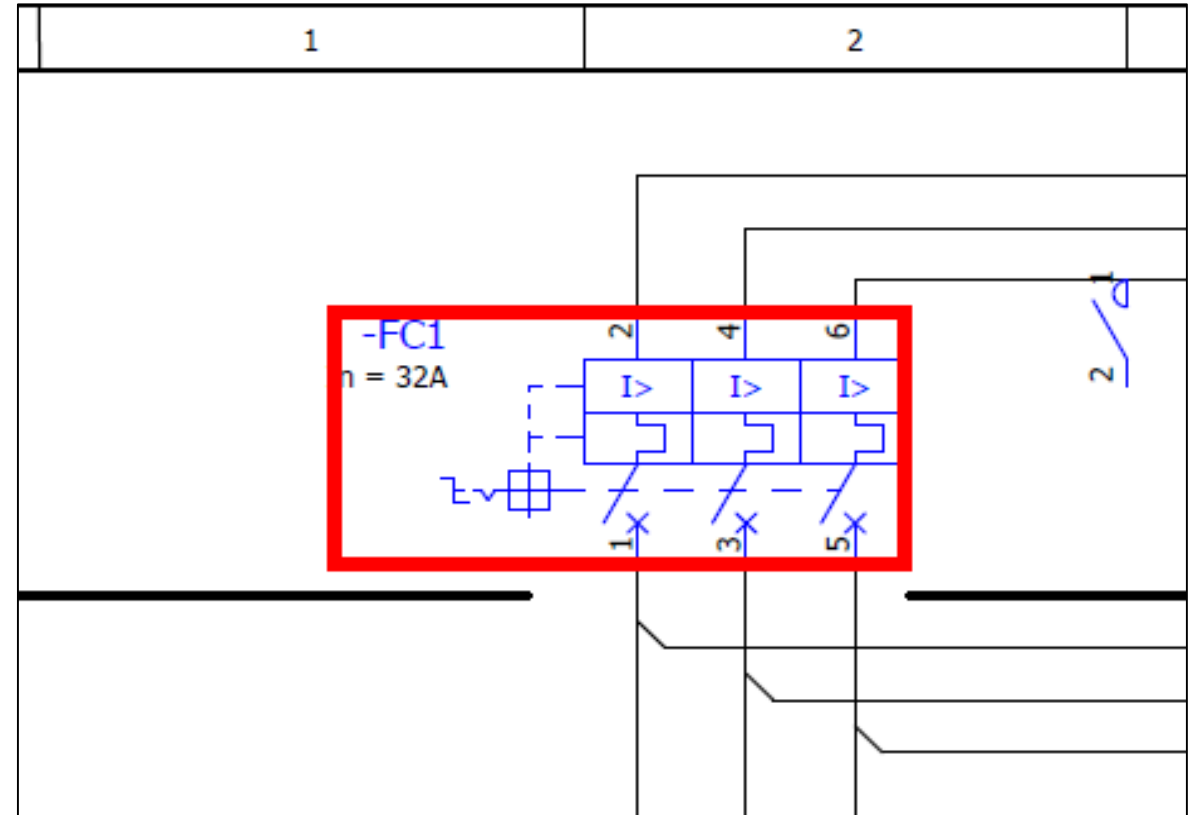
プラットフォーム → ページ → PDF エクスポート – PDF内で ジャンプ先に新しいマーク



Benefit:



- ジャンプ先が赤枠で表示され、わかりやすくなりました。



ページ説明のページプロパティを再度開く時間を短縮します。

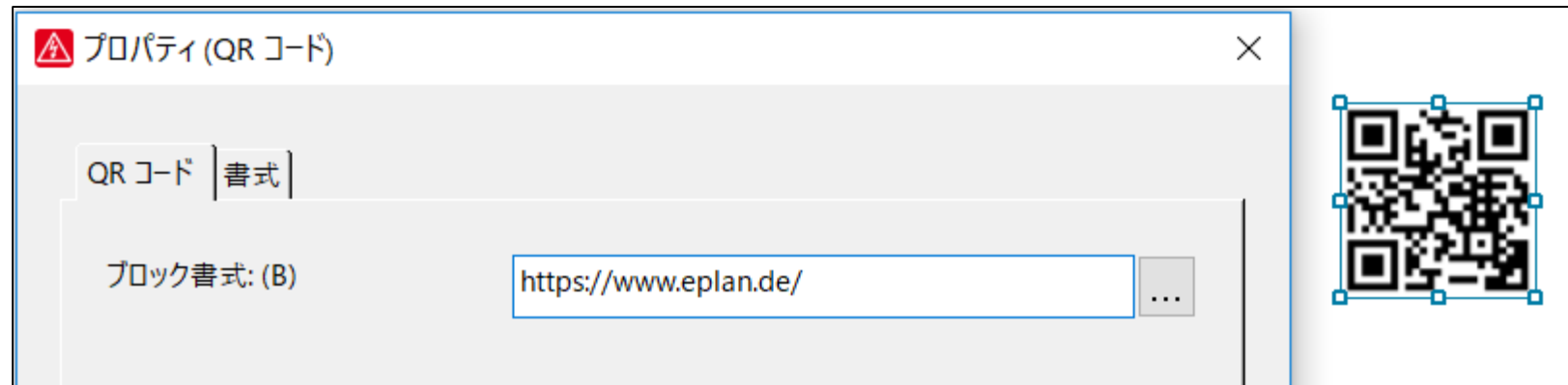
EPLAN-News 2.9

プラットフォーム→ グラフィカルエディター → QR コードの挿入と出力

 Benefit:



- **QRコード**をEPLANで生成し、ドキュメントにハイパーリンクを保存。印刷した後、モバイルデバイスで読み取り、開くことができます。



編集時にQRコードの向きを変更することは禁止されているため、**編集 > 回転** または **編集 > ミラー** を使用して **QRコード** を編集することはできません。

プラットフォーム → グラフィカルエディター → 新規ウインドウでのクロスリファレンスのオープン



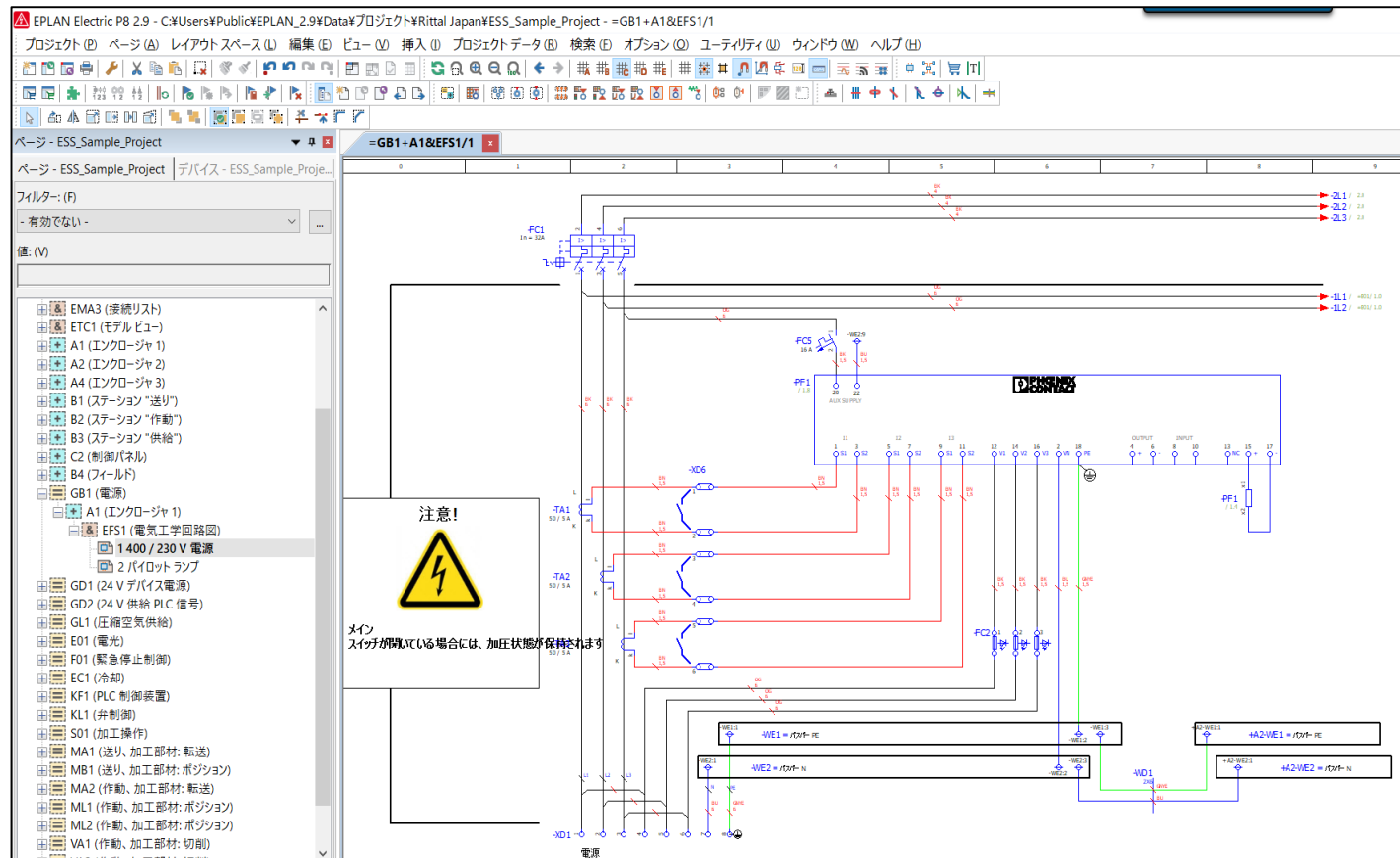
Benefit:



- ショートカットキーの **[Ctrl] + [Shift]** を同時に押しながら、**クロスリファレンス** をクリックすると、**新しいウインドウ** が開きます。



クロスリファレンス を **新規ウインドウ** で開いたとき、
最初に表示されたクロスリファレンスのプロジェクトページは開いたままになります。



EPLAN-News 2.9

プラットフォーム → デバイス → プロパティ配置の構成

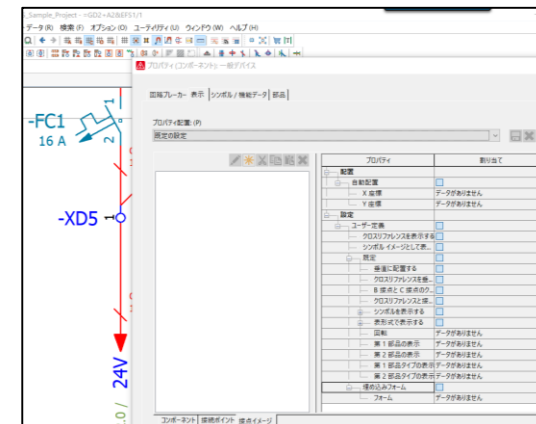
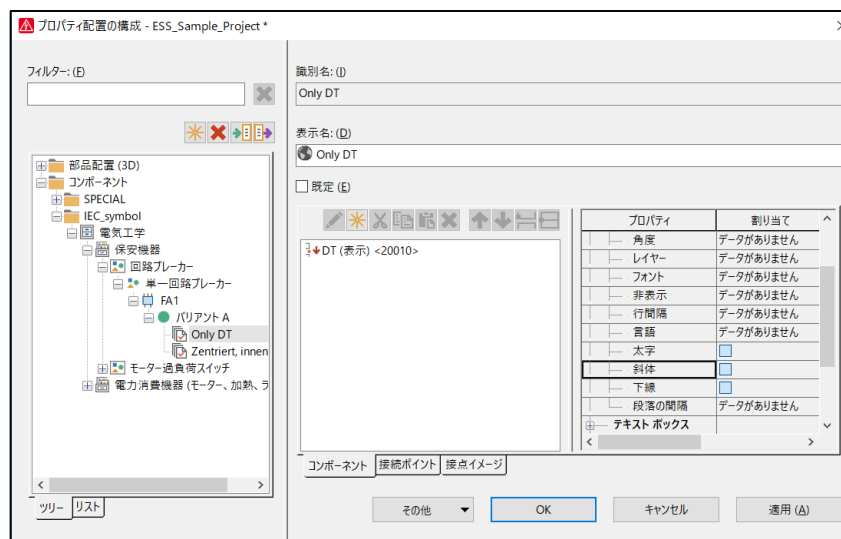


Benefit:



- **新しい**構成のダイアログはプロジェクトの**すべてのプロパティ配置の概要**で利用できます。

可能になったこと
複数の異なる部品配置
コンポーネントのプロパティ配置のエク
スポートとインポート
複数のプロパティ配置の同時編集



接点イメージ はコンポーネントのみ指定でき、**部品配置にはできません。**
したがって、これらのオブジェクトで、**接点イメージタブは利用できません。**

EPLAN-News 2.9

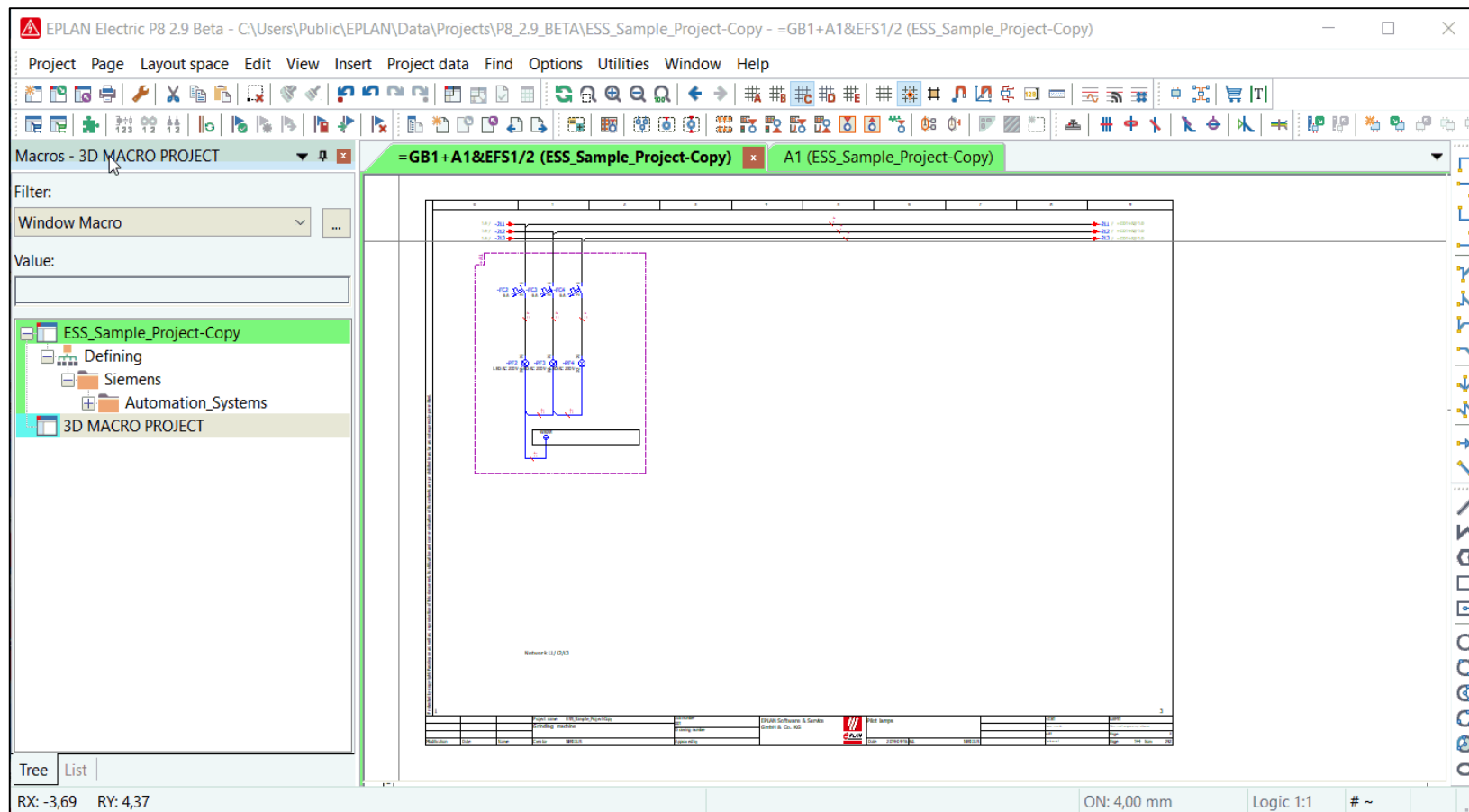
プラットフォーム → マクロ → ドラッグ&ドロップを使用したマクロナビゲーターからマクロの挿入



Benefit:



- **マクロナビゲーター** から **ドラッグ&ドロップ** でより早く・簡単に、マクロプロジェクトからマクロを挿入できるようになりました。
- **同様に、ドラッグ&ドロップ** で **3Dマクロ** を **レイアウトスペース** に挿入できます。



このアクションは、使用タイプが“**定義**”のマクロと“**指定なし**”のマクロの両方で可能です。

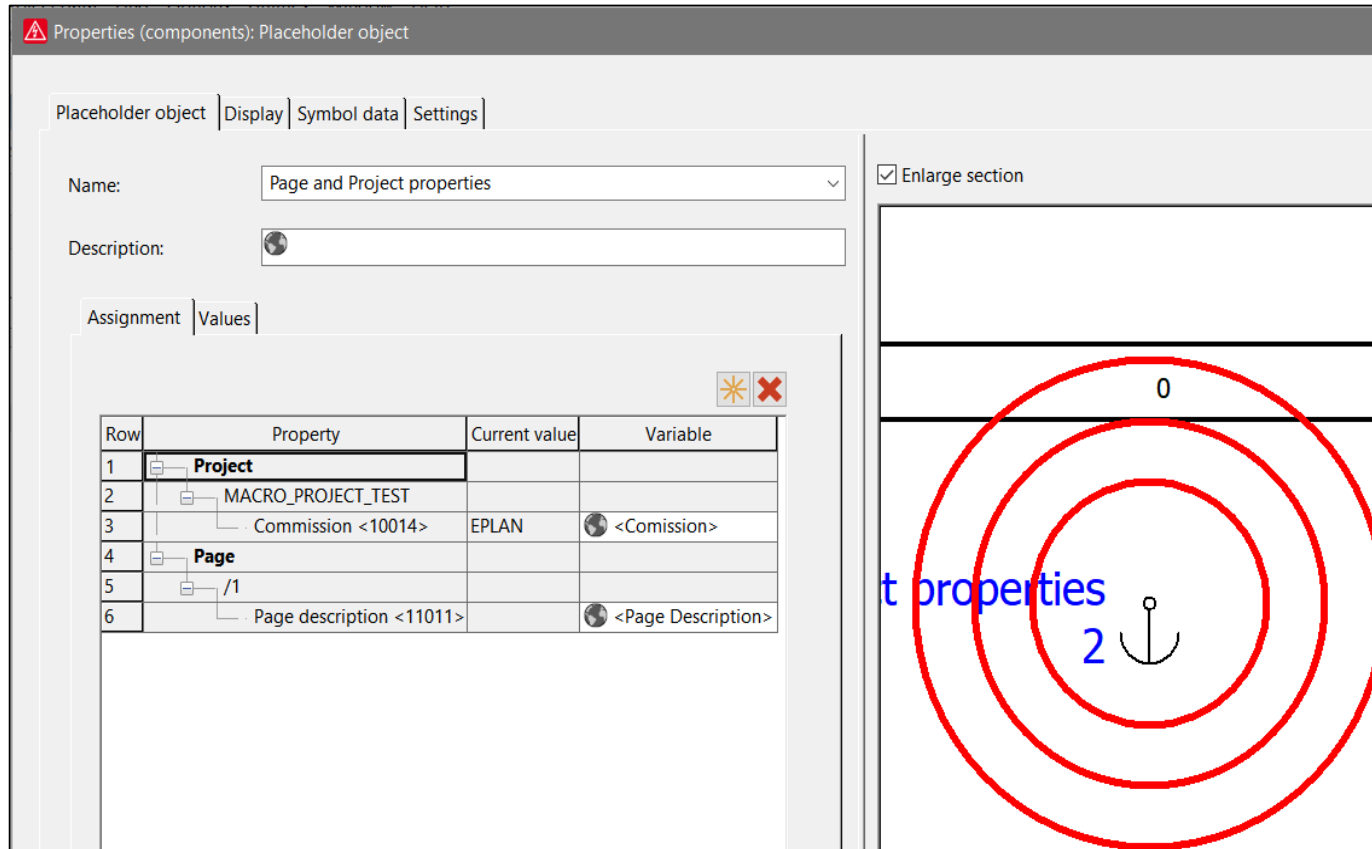
EPLAN-News 2.9

プラットフォーム → プレースホルダーオブジェクト → プロジェクトプロパティの変更

 Benefit:



- EPLAN Cogineer を使うと、例えば、プレースホルダーオブジェクトによって プロジェクトプロパティの変更ができます。



Row	Property	Current value	Variable
1	Project		
2	MACRO_PROJECT_TEST		
3	Commission <10014>	EPLAN	<Comission>
4	Page		
5	/1		
6	Page description <11011>		<Page Description>



このアクションは、使用タイプが“**定義**”のマクロと“**指定なし**”のマクロの両方で可能です。

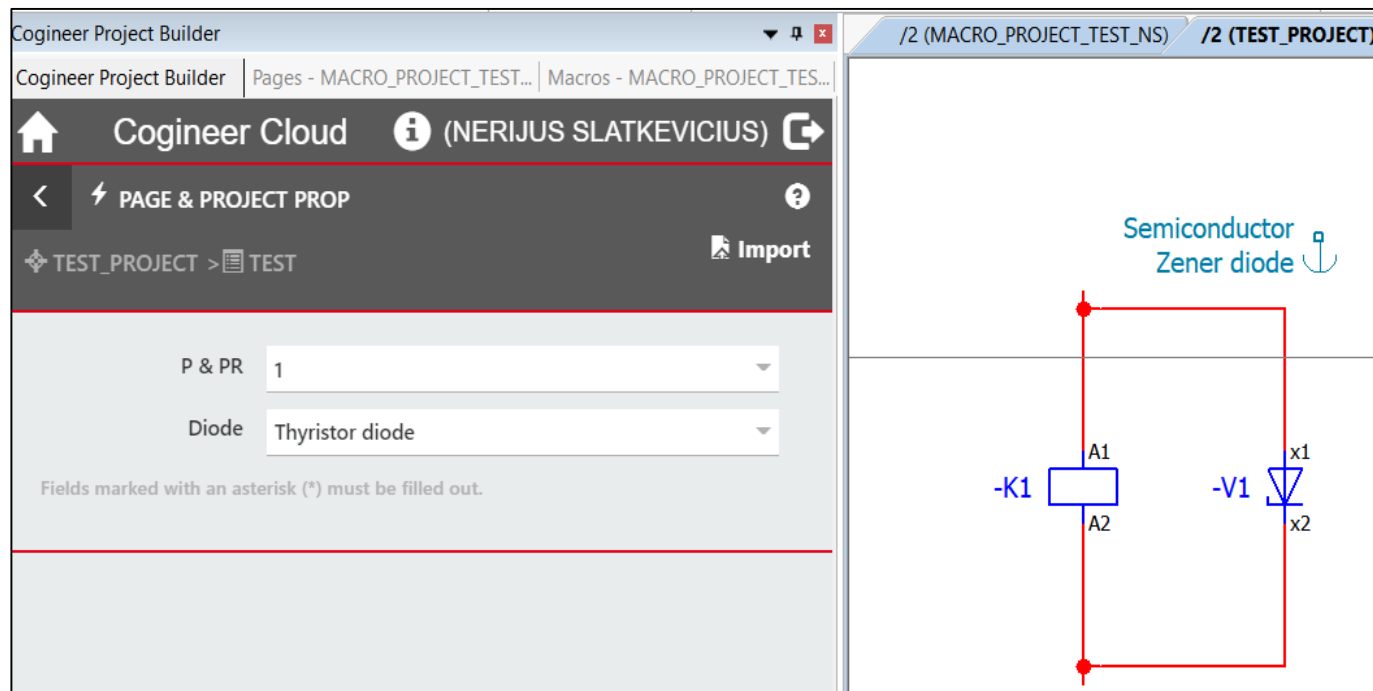
EPLAN-News 2.9

プラットフォーム → プレースホルダーオブジェクト →
値セットを使用したプレースホルダーオブジェクト内のシンボルの交換

 Benefit:



- 値セットによるシンボル交換 によってシンボルの置換が可能です。



割り当てタブ を機能のプロパティの選択用に
新しいプロパティ **シンボル (ID 20575)** を使用できます。

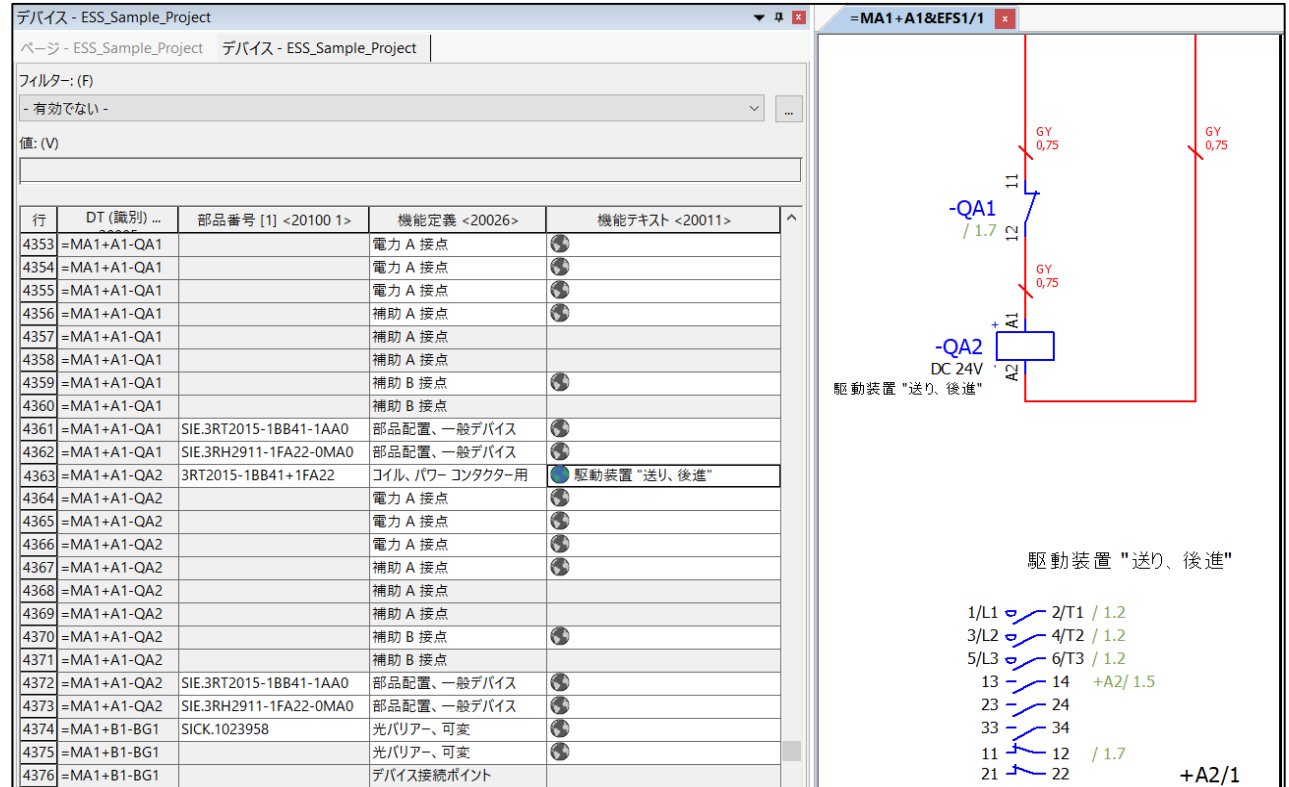
EPLAN-News 2.9

プラットフォーム → プロジェクトデータのナビゲーター → ナビゲーターの新しい表形式のリストビュー

 Benefit:



- ナビゲーターの**新しいリストのビュー**で、プロパティの編集が直接できるようになりました。



The screenshot displays the EPLAN software interface. On the left, a table lists device data with columns for '行' (Row), 'DT (識別) ...', '部品番号 [1] <20100 1>', '機能定義 <20026>', and '機能テキスト <20011>'. The table contains 24 rows of data, including various electrical components like '電力 A 接点', '補助 A 接点', '補助 B 接点', and '駆動装置 "送り、後進"'. On the right, a circuit diagram shows the electrical connections for the selected device, including terminals like '11', '12', 'A1', 'A2', and 'GY 0,75', along with labels like '-QA1 / 1.7' and '駆動装置 "送り、後進"'. Below the diagram, there is a legend for terminal connections: 1/L1, 3/L2, 5/L3, 13, 23, 33, 11, 21, 2/T1 / 1.2, 4/T2 / 1.2, 6/T3 / 1.2, 14, 24, 34, 12 / 1.7, and +A2/1.

行	DT (識別) ...	部品番号 [1] <20100 1>	機能定義 <20026>	機能テキスト <20011>
4353	=MA1+A1-QA1		電力 A 接点	
4354	=MA1+A1-QA1		電力 A 接点	
4355	=MA1+A1-QA1		電力 A 接点	
4356	=MA1+A1-QA1		補助 A 接点	
4357	=MA1+A1-QA1		補助 A 接点	
4358	=MA1+A1-QA1		補助 A 接点	
4359	=MA1+A1-QA1		補助 B 接点	
4360	=MA1+A1-QA1		補助 B 接点	
4361	=MA1+A1-QA1	SIE.3RT2015-1BB41-1AA0	部品配置、一般デバイス	
4362	=MA1+A1-QA1	SIE.3RH2911-1FA22-0MA0	部品配置、一般デバイス	
4363	=MA1+A1-QA2	3RT2015-1BB41+1FA22	コイル、パワー コンタクター用	駆動装置 "送り、後進"
4364	=MA1+A1-QA2		電力 A 接点	
4365	=MA1+A1-QA2		電力 A 接点	
4366	=MA1+A1-QA2		電力 A 接点	
4367	=MA1+A1-QA2		補助 A 接点	
4368	=MA1+A1-QA2		補助 A 接点	
4369	=MA1+A1-QA2		補助 A 接点	
4370	=MA1+A1-QA2		補助 B 接点	
4371	=MA1+A1-QA2		補助 B 接点	
4372	=MA1+A1-QA2	SIE.3RT2015-1BB41-1AA0	部品配置、一般デバイス	
4373	=MA1+A1-QA2	SIE.3RH2911-1FA22-0MA0	部品配置、一般デバイス	
4374	=MA1+B1-BG1	SICK.1023958	光バリアー、可変	
4375	=MA1+B1-BG1		光バリアー、可変	
4376	=MA1+B1-BG1		デバイス接続ポイント	



プロパティの直接**ブロック編集** (同じオブジェクトタイプの複数のプロジェクトのプロパティ同時変更) も**可能**です。

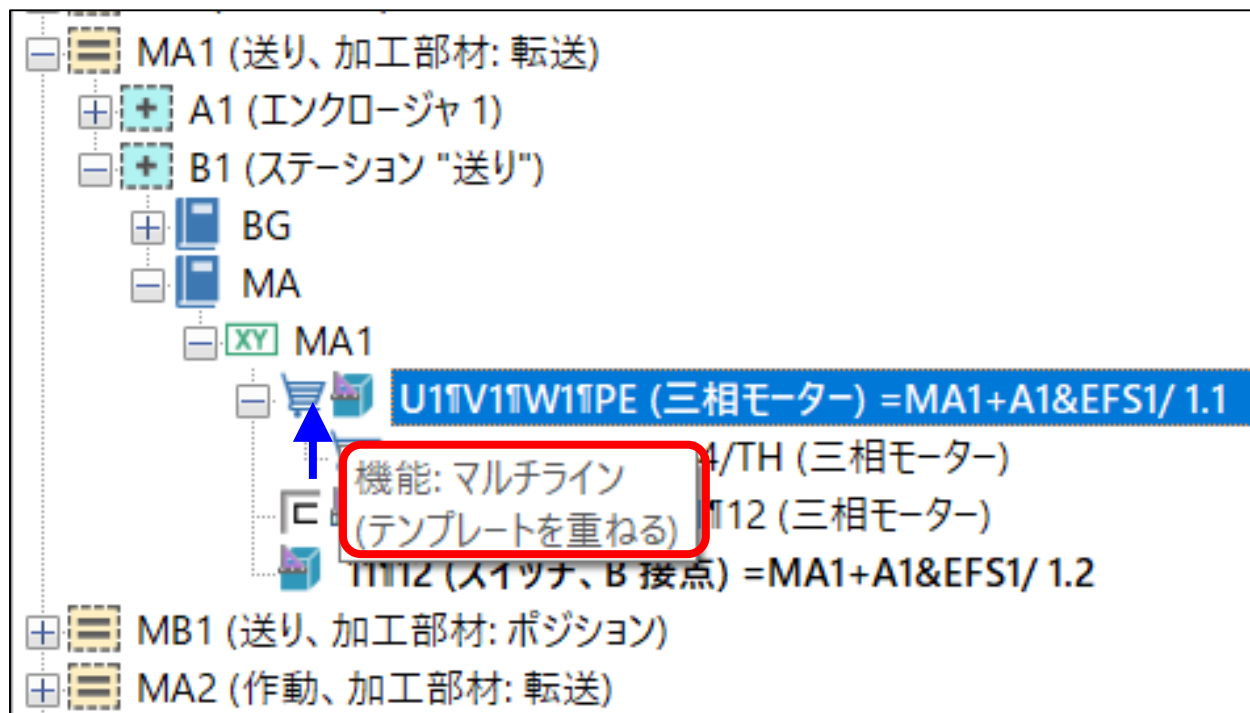
EPLAN-News 2.9

プラットフォーム → プロジェクトデータのナビゲーター → ナビゲーターのアイコンの補足説明

 Benefit:



- **補足説明** を使用すると、より早くプロジェクトデータのナビゲーターのアイコンの**意味を理解することができます**。
- **プロジェクトデータ ツリービュー** でアイコンにカーソルを合わせると、短い情報(**補足説明**) がアイコンに表示されます。



他のツリービュー内 (例えば、プロジェクト管理、部品マスターナビゲーター内など) のアイコンには**追加情報は表示されません**。

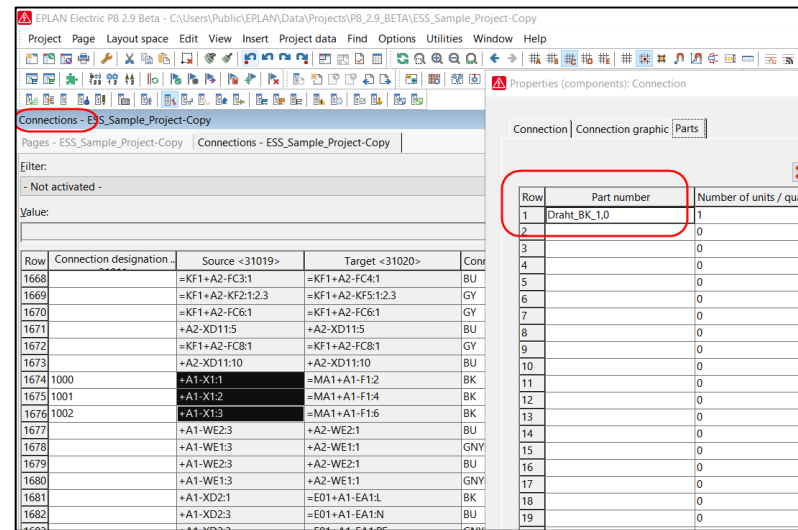
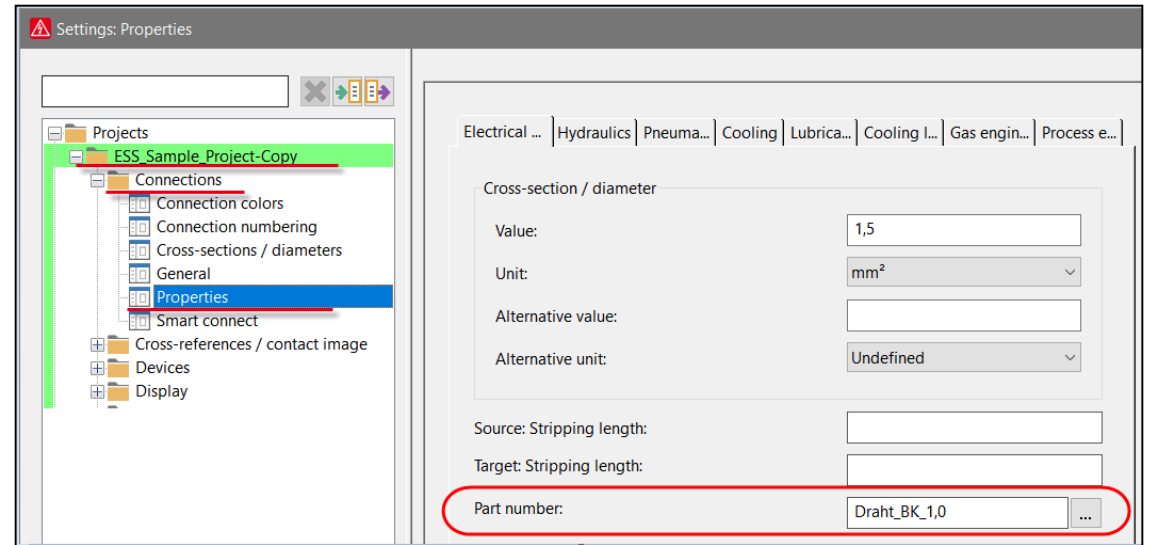
接続 → 電気接続での部品の事前設定



Benefit:

NEW

- 接続ごとに手動で部品を割り当てる必要ありません。特に同じワイヤ部品を接続定義ポイントに設定する場合、設定する**時間が短縮**できます。すべての接続部品が割り当てられているので、ルーティングの収容能力が計算されます。



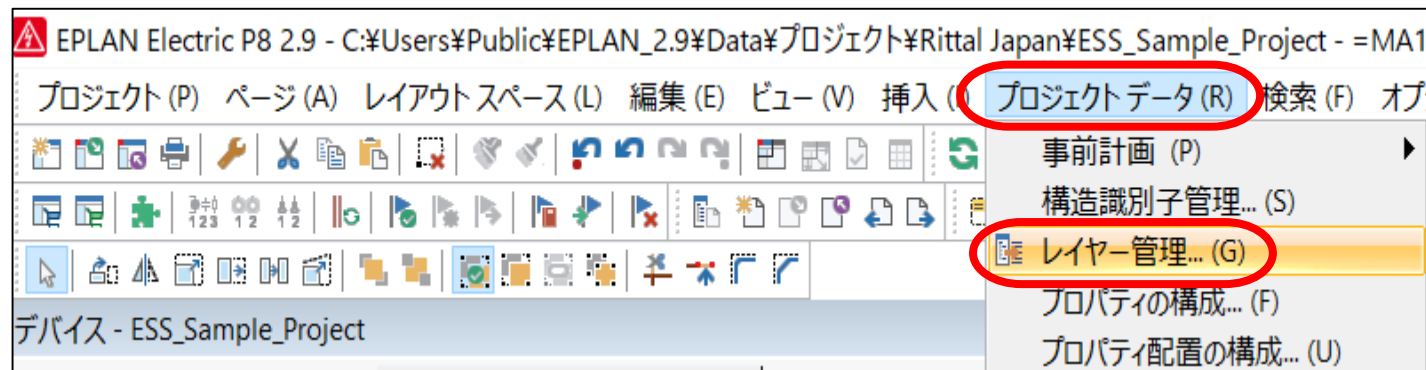
電気工学のタブの設定は **個別接続** (接続: 関連付けプロパティに値が設定されている) のみに適用され、**ケーブル接続**には適用されなくなりました。

レイヤー → レイヤー管理の機能強化



変更点:

- **レイヤー管理** は **ナビゲーター** と同様の動作をするようになり、レイヤー管理をグラフィカルエディターに配置できるようになりました。あとから、検索結果リストの検出された **プロパティダイアログ** を開き、手で、検索したレイヤーの **割り当てを変更** できます。



“**レイヤー管理**”の機能が“**オプション**”メニューから削除されました。

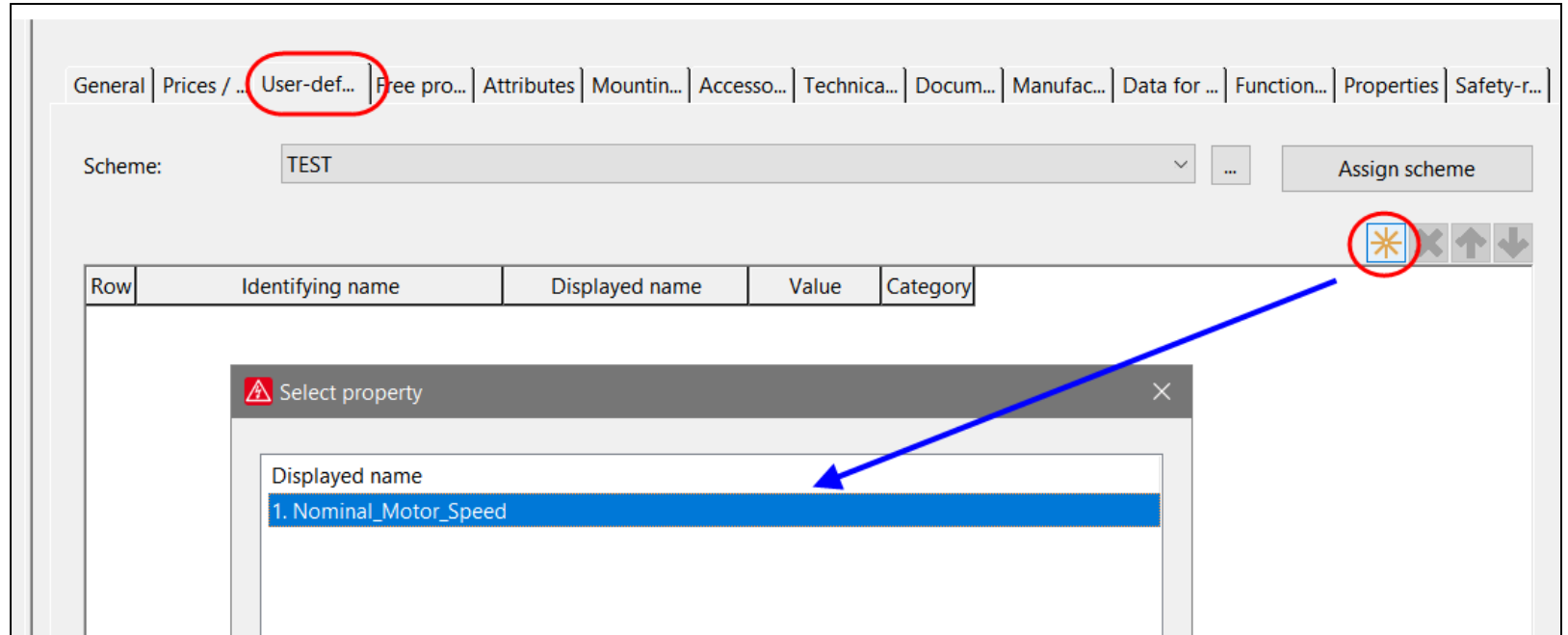
ユーザー定義プロパティ → 部品管理



Benefit:

NEW

- **部品管理** **ユーザー定義プロパティ** はプロジェクトのユーザー定義プロパティと同様です。EPLAN プラットフォーム内での追加情報の入力と表示が統一される。



部品管理 の **ユーザー定義プロパティ** は構成時に、フリープロパティよりも多くの設定オプションを設定できます。

ユーザー定義プロパティ → 構成ダイアログの機能強化

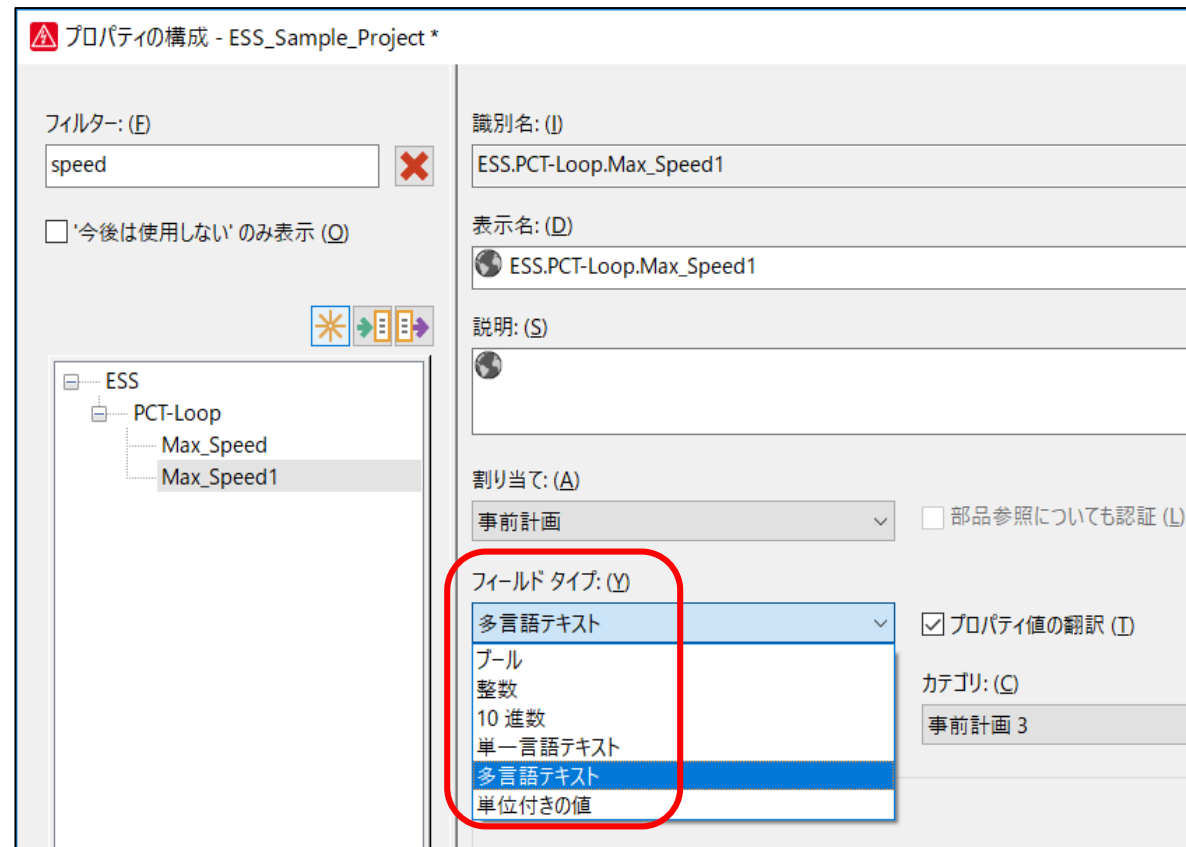


変更点:

- オプションメニューから **プロジェクトデータ > プロパティの構成** に移動しました
- 新しいドロップダウンリスト **フィールドタイプ** には、**ユーザー定義プロパティ** に許可されている文字と形式が指定できます。



フィールドタイプ と **チェックボックス プロパティ値の翻訳** を使用することで、どのユーザー定義プロパティが翻訳に関連するかを明確に定義できます。

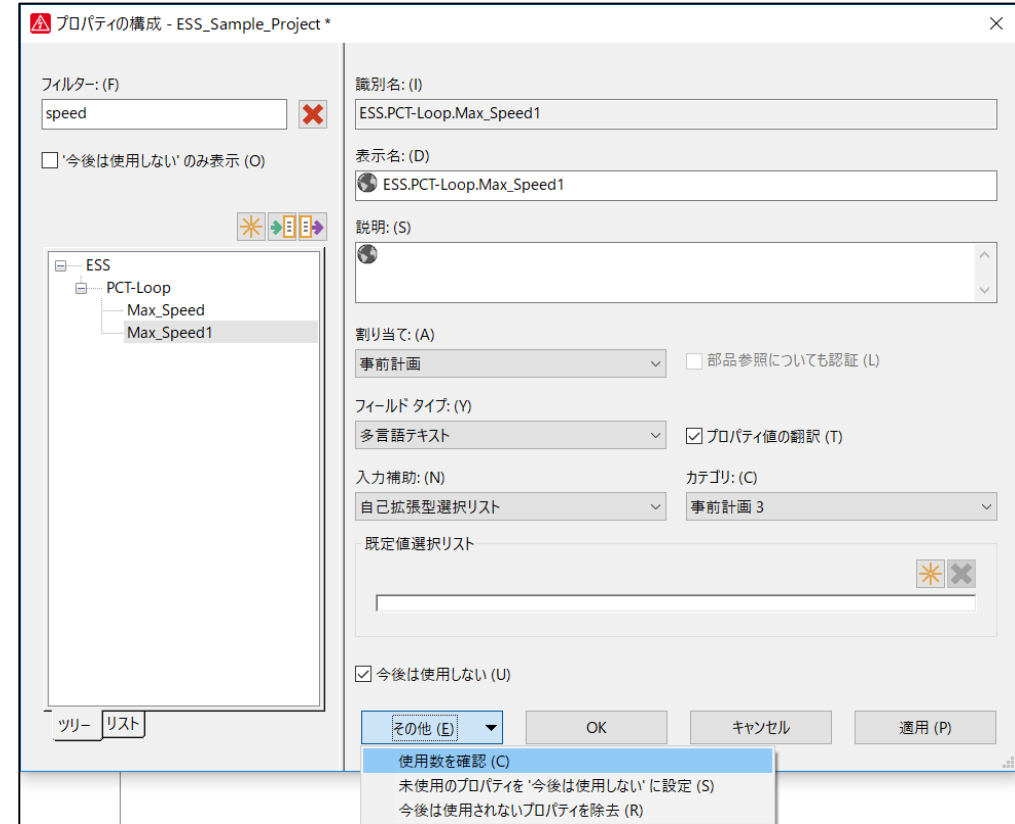


ユーザー定義プロパティ → ユーザー定義プロパティの削除と使用方法の確認



変更点:

- 今後は使用しないに✓があるプロパティは、**今後は使用されないプロパティを除去**のメニュー項目で削除できます。
- **ユーザー定義プロパティ**を削除する前に、そのプロパティが**使用されているかどうかを確認**することができます。



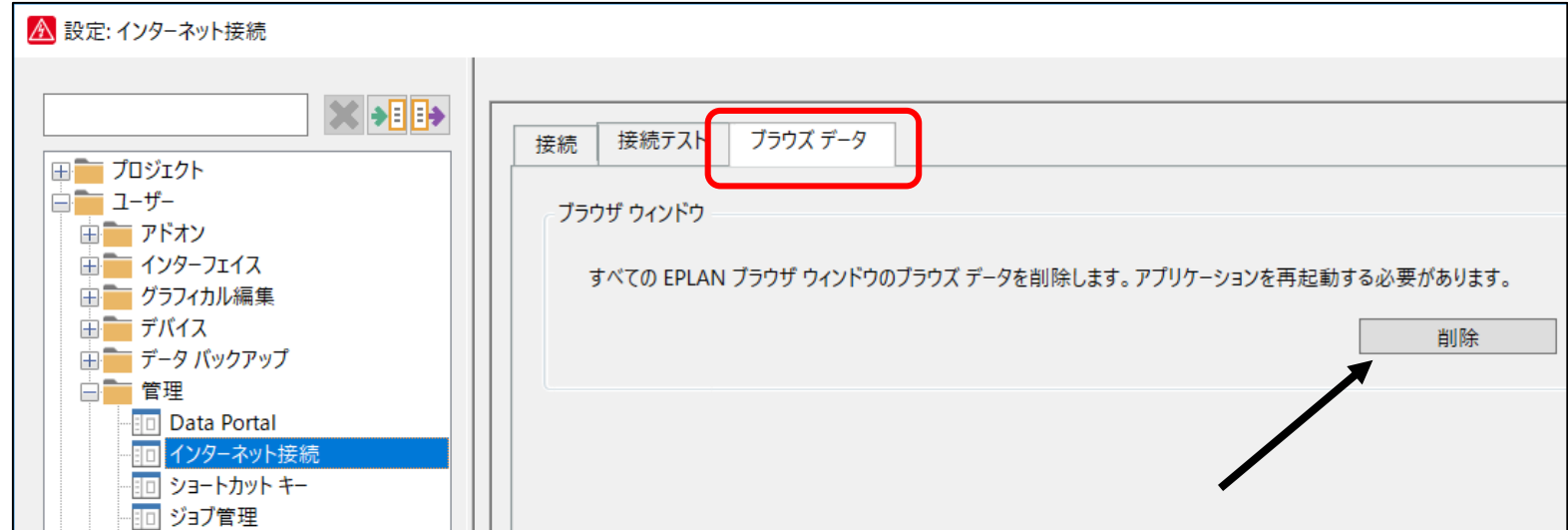
設定 → すべてのEPLANブラウザウィンドウのブラウザデータの削除



Benefit:

NEW

- 特定の状況で、削除が必要な場合
— EPLAN プラットフォーム コンポーネントの **ブラウザデータ** (例えば **EPLAN Data Portal**, **EPLAN Download Manager**, etc)



これを**有効**にするには、**EPLAN** を閉じて、再起動する必要があります。

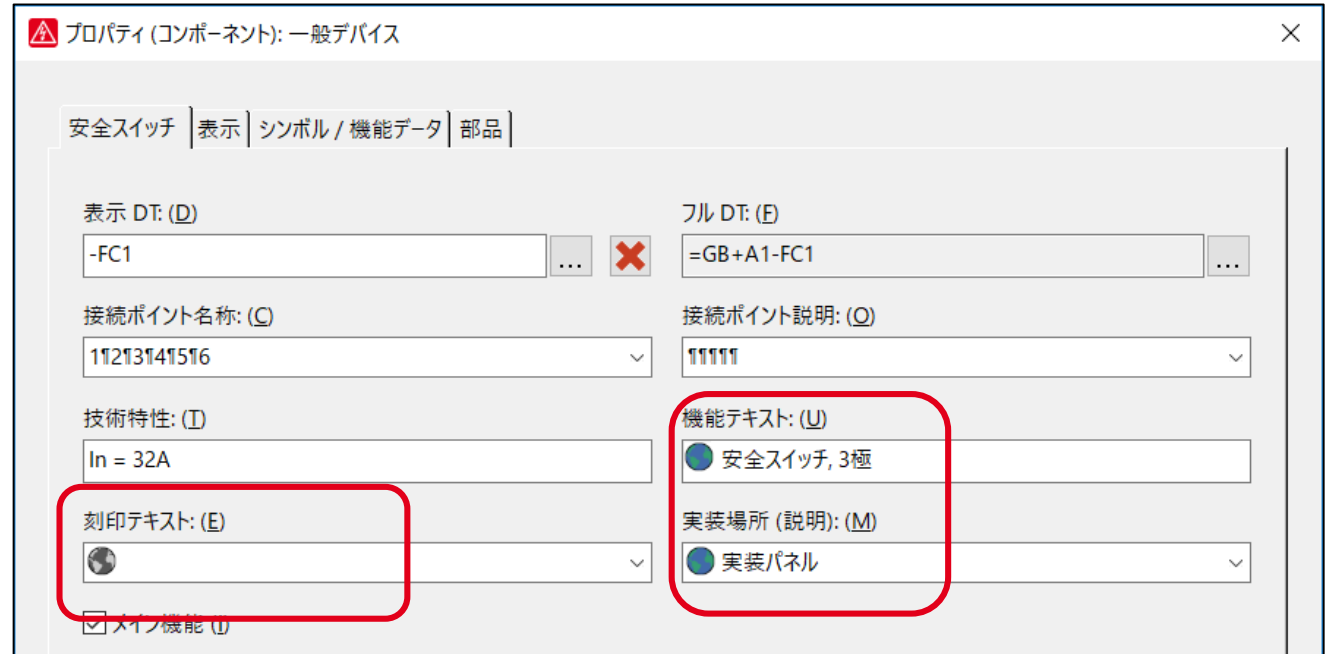
翻訳 → 多言語フィールドの識別



Benefit:

NEW

- 多言語入力が可能なフィールドでは、デフォルトでアイコンがマークされます。
- **新しいアイコン**を使うと、どのフィールドが多言語入力が可能なのかがすぐにわかります。



アイコン	意味
	このフィールドの内容は言語に依存しない (言語が割り当てられていない) か空です。
	このフィールドの内容は言語に依存します。この場合、 [翻訳の除去] ポップアップ メニュー アイテムが有効になります。



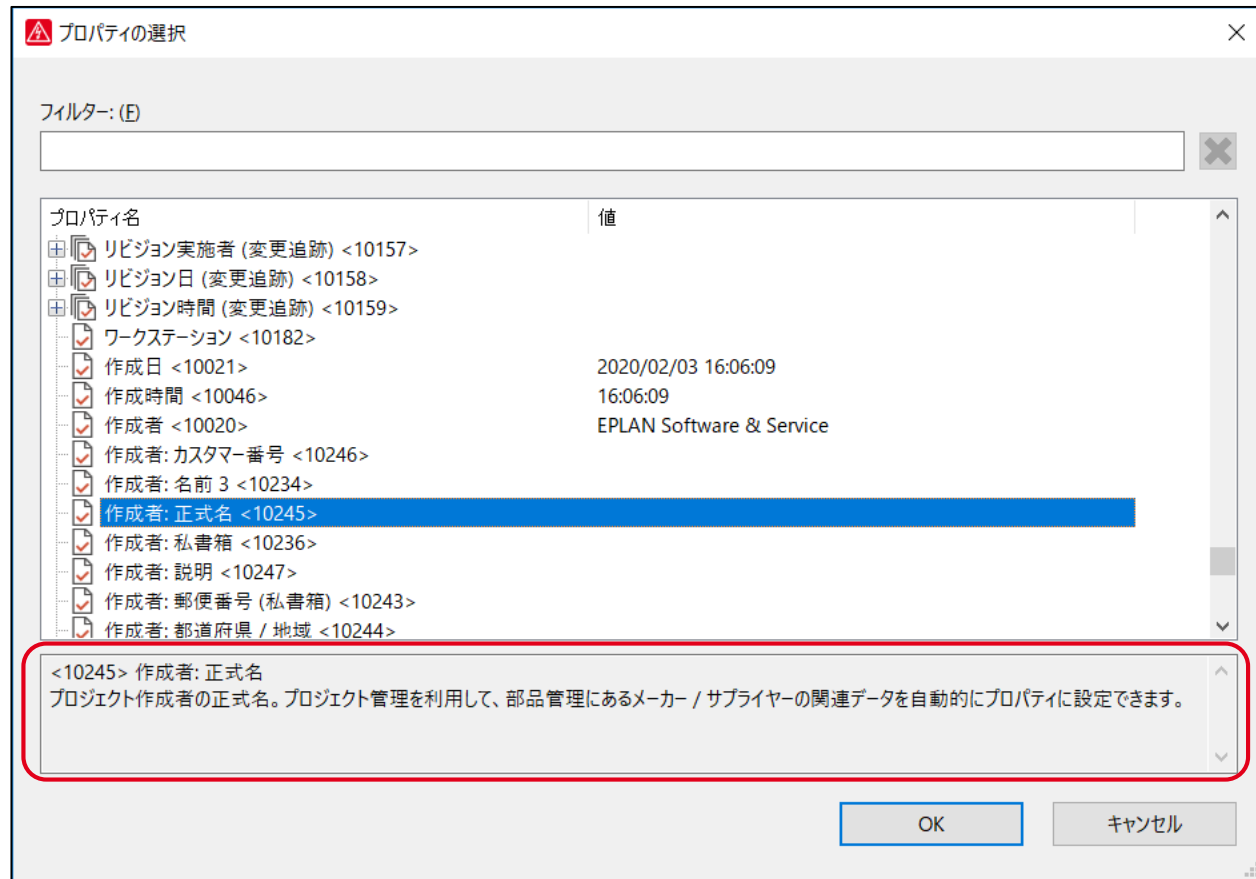
さらに、テキスト言語に依存しないか翻訳済みであるかがわかります。

ユーザーインターフェイス: → プロパティの選択の追加情報

 Benefit:



- プロパティの選択のダイアログ 追加情報 – プロパティのID、名称 と関連する説明 がダイアログの下のエリアに表示されるようになりました。



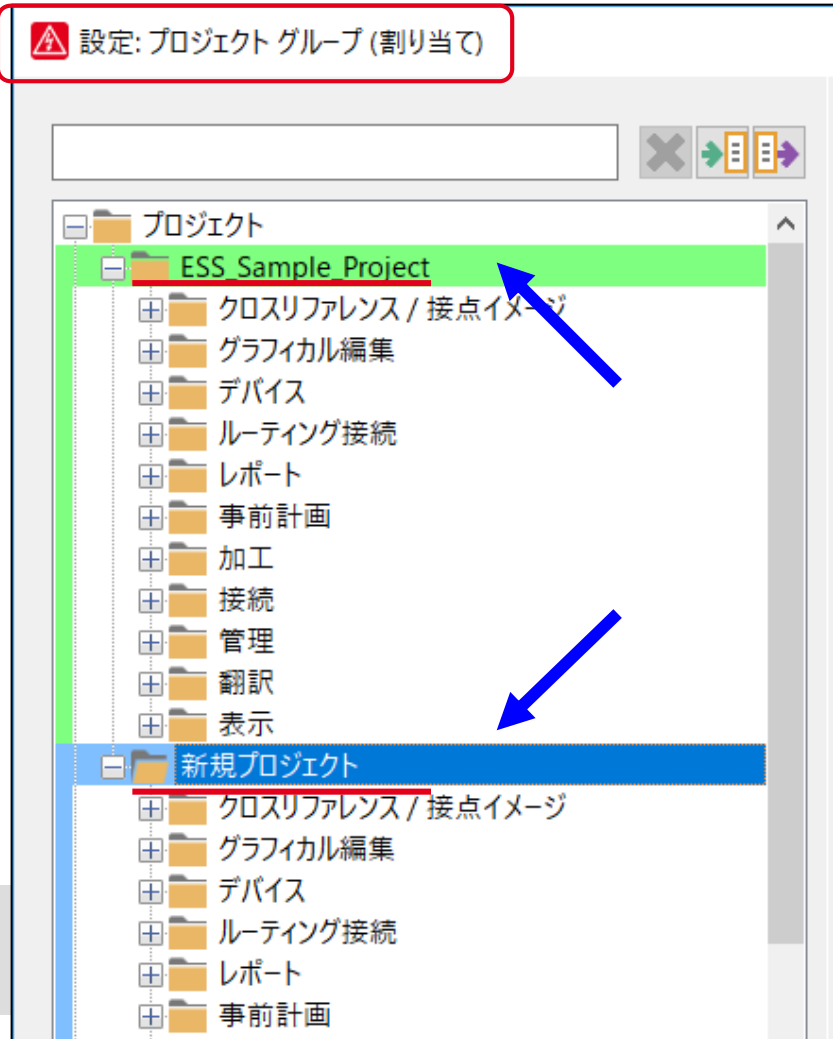
EPLAN-News 2.9

設定: → 設定のプロジェクトグループ (割り当て) でプロジェクトの色を表示できます。

 **Benefit:**



- ユーザーが**複数のプロジェクト**を開いている場合、
現在どのプロジェクトを実施しているかを
より簡単に認識することができます。



EPLAN-News 2.9

Introduction | アジェンダ

1 プラットフォーム

2 Electric P8

3 Pro Panel

4 Preplanning

5 Fluid

6 Cogineer

7 Smart Wiring

8 Field Sys

9 E-Puls

10 E-Cloud

11 E-View

12 Further News

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

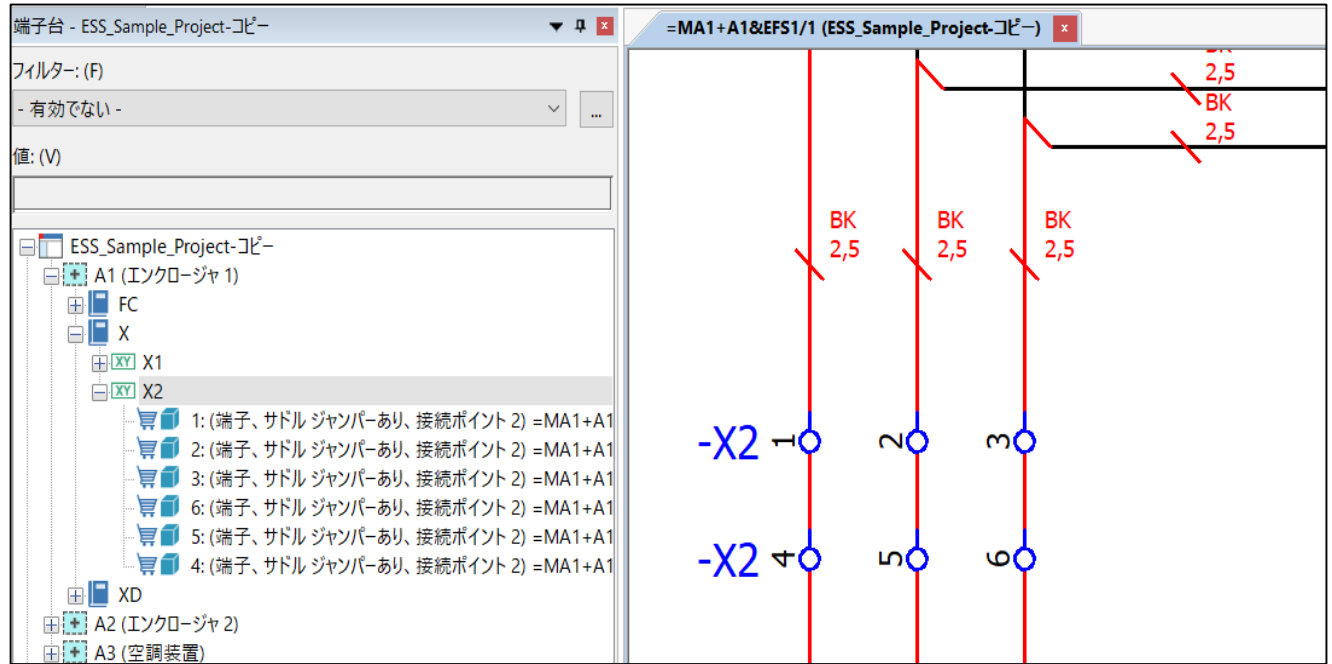
GLOBAL SUPPORT

ELECTRIC P8 → 端子台 → 図枠の方向に代わる別の手段としての端子

 Benefit:



- **新機能 ページベース (図枠の位置に代わる別の手段)** を用いると、**端子/ピン** が図枠のレポート生成方向に代わる順序として、ページごとに番号付けされます。



例えば、**IEC 規格** に準拠するプロジェクトは **行ごとに番号付け** され、**NFPA 規格** に準拠するプロジェクトは、**列ごとに番号付け** されます。

ELECTRIC P8 → 端子 → 分散端子の論理情報の転送



Benefit:



- **分散端子** は、論理設定に関して、**デバイス接続ポイント**のような挙動をします。**端子接続ポイント**は同じ端子機能内の指定された端子接続ポイントに**電位**と**PLC ターゲット追跡**を転送できます。

The screenshot shows the EPLAN Electric P8 interface. On the left, a tree view shows a terminal strip '1:a1b11' selected. The main workspace shows a terminal strip with connection points. A 'Connection point logic' dialog box is open, displaying a table of logic data for four connection points.

Function connection point	1	2	3	4
Connection point type	Conductor / wire	Conductor / wire	Conductor / wire	Conductor / wire
Cable connection point	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Pressure / control port	Undefined	Undefined	Undefined	Undefined
Transfer potential to	2,3,4	1,3,4	1,2,4	1,2,3
Potential type	Undefined	Undefined	Undefined	Undefined
Consumer / source to	Undefined	Undefined	Undefined	Undefined
Type of signal	Undefined	Undefined	Undefined	Undefined
Target tracking (PLC) to	Undefined	Undefined	Undefined	Undefined
Number of targets	2	2	2	2

Blue arrows in the image point from the 'Logic...' button in the properties panel to the 'Connection point logic' dialog box, and from the 'Number of targets' row in the table to the 'Logic...' button.



分散端子において、**同じ端子機能内で**(同じレベル内のマルチレベル端子)、論理情報の転送ができるようになりました。

ELECTRIC P8 → PLC → AutomationML 書式でのPLCデータ交換の機能強化



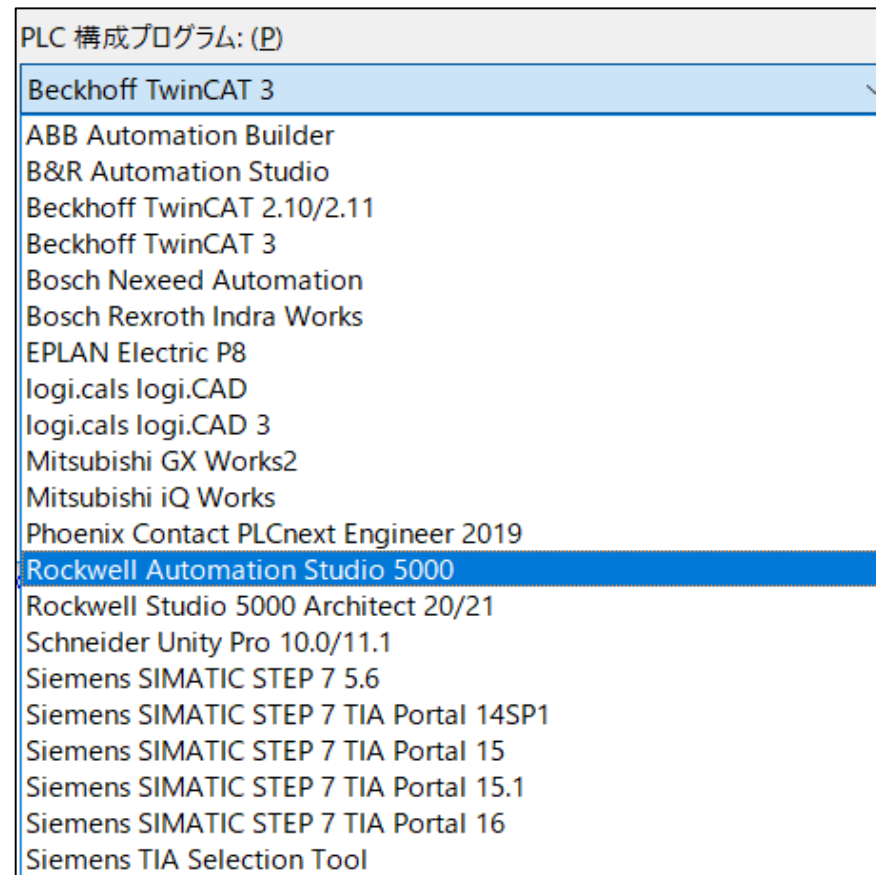
Benefit:



- 下記のAutomationML書式PLCデータ交換の機能強化がこのバージョンから実現しました。

PLC構成プログラムサポート

- **Rockwell Automation Studio 5000** と
- **Siemens TIA Selection Tool**



新しいチェックボックス **デバイス固有の構成値をエクスポート** が設定ダイアログ:
AutomationML エクスポート で利用可能になりました。

ELECTRIC P8 → PLC → 新しく “PortToPort” がバス選択に追加



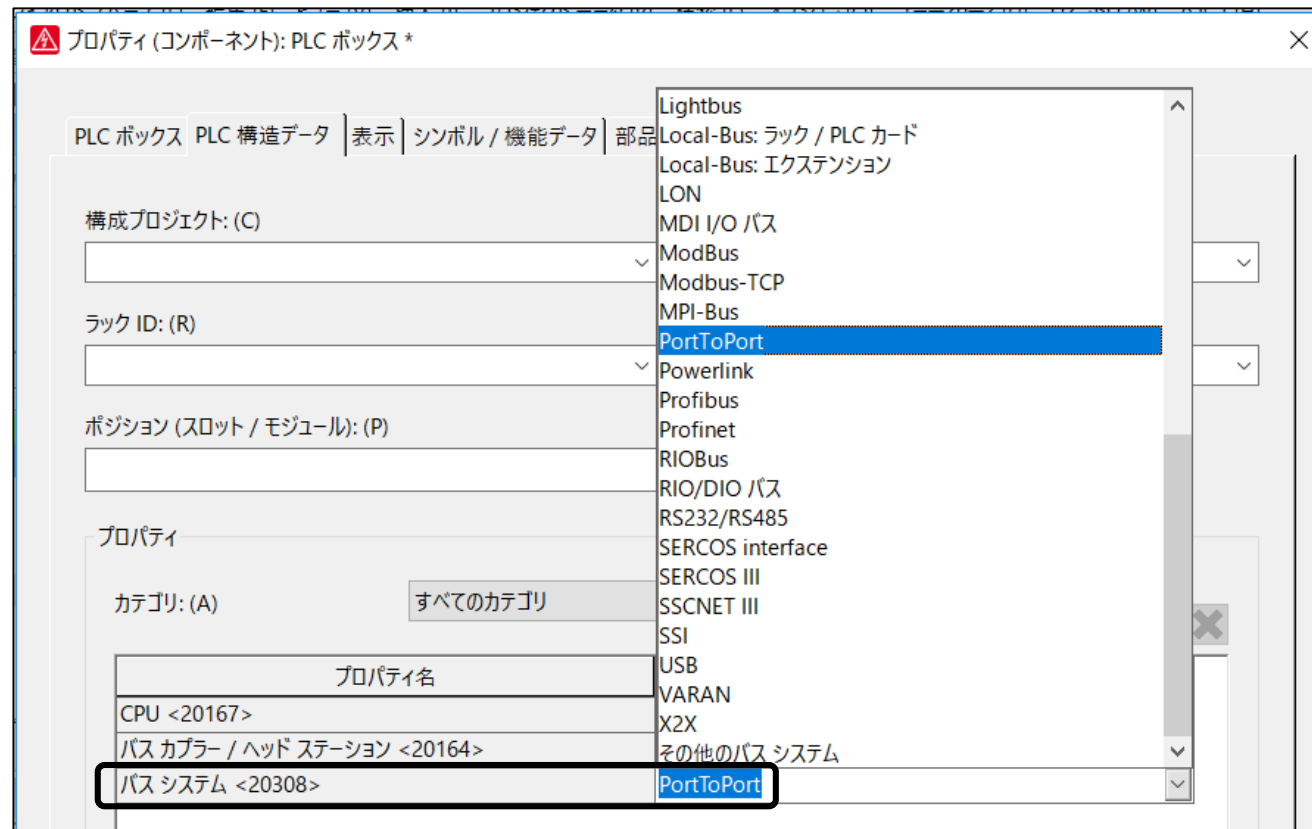
Benefit:



- バス システムプロパティに新しく “PortToPort” がドロップダウンリストから利用できるようになりました。このバス システムは 論理ネットワークを エクスポートしたいのではなく、バスポート(ポート固有の相互接続) をエクスポートする場合に使用できます。



バスシステム “DRIVE-CLiQ”、 “PortToPort” および “ET-Connection” は、ポート固有の相互接続で正しくエクスポートされます。



ELECTRIC P8 → PLC → 駆動装置への機能の関連付け

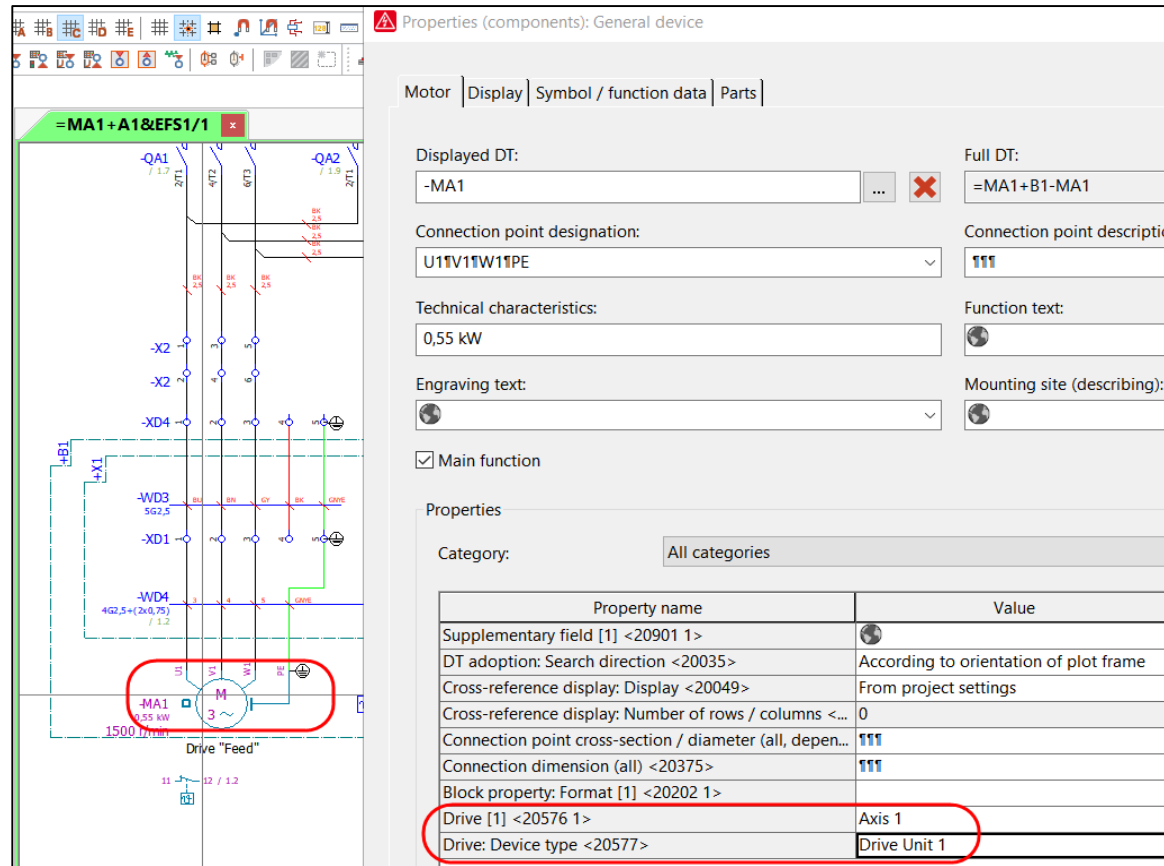
 Benefit:



- 新しい **駆動装置** プロパティによって、**駆動装置のコンポーネント** をグループ化できます。
- PLC ナビゲーター** の **駆動装置** によるビューにこのグループが表示され、**駆動装置のコンポーネント** を編集できます。



同じ名前の部品プロパティ **駆動装置: デバイス タイプ (ID 40349)** を使用して、部品にデバイスタブを保存できます。



The screenshot shows the EPLAN software interface. On the left, a circuit diagram displays a motor component labeled 'MA1' with a power rating of '0,55 kW'. On the right, the 'Properties (components): General device' panel is open, showing various configuration options for the motor.

Properties (components): General device

Motor | Display | Symbol / function data | Parts

Displayed DT: -MA1 Full DT: =MA1+B1-MA1

Connection point designation: U11V11W11PE Connection point description: 111

Technical characteristics: 0,55 kW Function text:

Engraving text: Mounting site (describing):

Main function

Properties

Category: All categories

Property name	Value
Supplementary field [1] <20901 1>	
DT adoption: Search direction <20035>	According to orientation of plot frame
Cross-reference display: Display <20049>	From project settings
Cross-reference display: Number of rows / columns <...>	0
Connection point cross-section / diameter (all, depen...)	111
Connection dimension (all) <20375>	111
Block property: Format [1] <20202 1>	
Drive [1] <20576 1>	Axis 1
Drive: Device type <20577>	Drive Unit 1

ELECTRIC P8 → PLC サブデバイスの拡張

Benefit:



- この**デバイス識別**を使って、**PLC サブデバイス** (12個までの PLC サブデバイス) に交換し、**AutomationML 形式での PLC データ交換**の際、**PLC構成プログラム**で独立デバイスとして管理できます。

The screenshot shows the 'Part selection' dialog box for 'ESS_part001.mdb'. It features a tree view on the left with 'PLC' expanded to show subdevices like 'SIE.6ES7321-1BH10-0A'. On the right, a table lists properties for 'PLC subdevice 1'.

Row	Property	Value
25	CPU <22020>	<input type="checkbox"/>
26	Power supply <22052>	<input type="checkbox"/>
27	Bus distribution device <22053>	<input type="checkbox"/>
28	PLC card is placed on head station <22290>	<input type="checkbox"/>
29	Drive: Device type <22340>	
30	TemplateReference <22338>	
31	Address range (SIEMENS STEP 7 Classic) <22106>	
32	Address range 2 (SIEMENS STEP 7 Classic) <22261>	
33	PLC device: Data length (inputs) <20571>	
34	PLC device: Data length (outputs) <20573>	
35	PLC subdevice 1	
36	PLC subdevice 1: Name <22293>	
37	PLC subdevice 1: Position (slot / module) <22305>	
38	PLC subdevice 1: Data length (inputs) <22363>	
39	PLC subdevice 1: Data length (outputs) <22364>	
40	PLC subdevice 1: PLC type designation <22365>	
41	PLC subdevice 1: Device description: Index in file <22366>	
42	PLC subdevice 2	



これらのプロパティは、**PLC ボックス**のプロパティダイアログ内の**PLC ボックス タブ**と**部品管理のプロパティタブ**で利用できます。

ELECTRIC P8 → ラック編集ダイアログの強化



Benefit:



- 新しい編集機能で **PLC ラック上のPLCカード**を快適に編集、割り当てができます。
- 新しいメニュー項目“**位置(スロット/モジュール)**”を使用すると、PLC カードまたはラック全体のプロパティの**位置(スロット/モジュール)**の値を自動で割り当てることができます。

Row	Position (slot / module)	DT (identifying)	PLC type designation	PLC card name
1	1	=KF1+A2-KF3	IB IL 24 DI 16-PAC	
2	2	=KF1+A2-KF4	IB IL 24 DI 16-PAC	
3	3	=F01+A2-KF2	IB IL 24 SEG-PAC	
4	4	=F01+A2-KF3	IB IL 24 PSDI 8-PAC	
5	5	=F01+A2-KF4	IB IL 24 PSDI 8-PAC	
6	6	=F01+A2-KF5	IB IL 24 PSDO 8-PAC	
7	7	=KF1+A2-KF5	IB IL 24 SEG-PAC	
8	8	=KF1+A2-KF6	IB IL 24 DO 8-PAC	



PLC カード名 の列に表示されている値を手動で変更可能になりました。

EPLAN-News 2.9

Introduction | アジェンダ

1 プラットフォーム

2 Electric P8

3 Pro Panel

4 Preplanning

5 Fluid

6 Cogineer

7 Smart Wiring

8 Field Sys

9 E-Puls

10 E-Cloud

11 E-View

12 Further News

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

GLOBAL SUPPORT

トポロジー → ルーティングトラックの詳細設定オプション



Benefit:

NEW

- 新しいプロジェクトの設定
“ルーティングトラック内の未配置のトポロジルーティングパスを抑制” を使うと、レポートにページに配置されたルーティングトラックのみを出力することができます。

Source	Routing track
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A1-U2;+-U85;+-U87;+A2-U2	
+A2-U2;+-U87;+-U85;+-U82;+B1.X1-U101	
+A2-U2;+-U87;+-U85;+-U82	×
+A1-U2;+-U82	×
+B1.X1-U101	
+B1.X1-U101	×
+A2-U2;+-U87;+-U84;+B2-U101	
+A2-U2;+-U87;+-U84	
+A1-U2;+-U85;+-U84	



このチェックボックスがオンになっている場合、プロパティ **トポロジ: ルーティングトラック (ID 20237)** ,で**未配置のトポロジルーティングポイント**は非表示になり、レポートに出力されません。

トポロジー → ルーティングトラックの詳細設定オプション



Benefit:

NEW

- 新しいプロジェクトの設定
“ルーティングトラック内のトポロジルーティングポイントと長さを出力”を使うと、レポートのルーティングポイントの長さを出力できます。

ソフの線長 [m]	ルーティングトラック	ターゲット	ターゲットの線長 [m]
0.047	+-U128;+B3.X1-U101;+-U171	=MA3+B3-BG1	
0.051	+-U146;+A2-U2;+-U8;+C2-U100;+-U92	+A2-XG1	
0.047	+-U145;+A2-U2;+-U8;+C2-U100;+-U91	+A2-YD11	0.047
0.000	+-U145;+B1.X1-U101;+-U82;+-U85;+-U83;+-U122	=MB1+B2.Y1-XM1	0.052

プロパティ(コンネクト): ルーティングポイント

ルーティングポイント | 表示 | シンボル / 機能データ | 接続されている構造 | 部品 |

表示 DT: (D) [-U100] ... X [フル DT: (F) [+C2-U100]

技術特性: (T) [] ... [機能テキスト: (U) []]

ルーティング長さ: (R) [1.5] ... [機能定義: (N) [トポロジの構造ルーティングポイント]



“ルーティングトラック内の未配置のトポロジルーティングパスを抑制”の設定がオンの場合、ルーティングトラック内の配置済みトポロジルーティングポイントと構造ルーティングポイントのみが出力に含まれます。

EPLAN-News 2.9

Introduction | アジェンダ

1 プラットフォーム

2 Electric P8

3 Pro Panel

4 Preplanning

5 Fluid

6 Cogineer

7 Smart Wiring

8 Field Sys

9 E-Puls

10 E-Cloud

11 E-View

12 Further News

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

IMPLEMENTATION

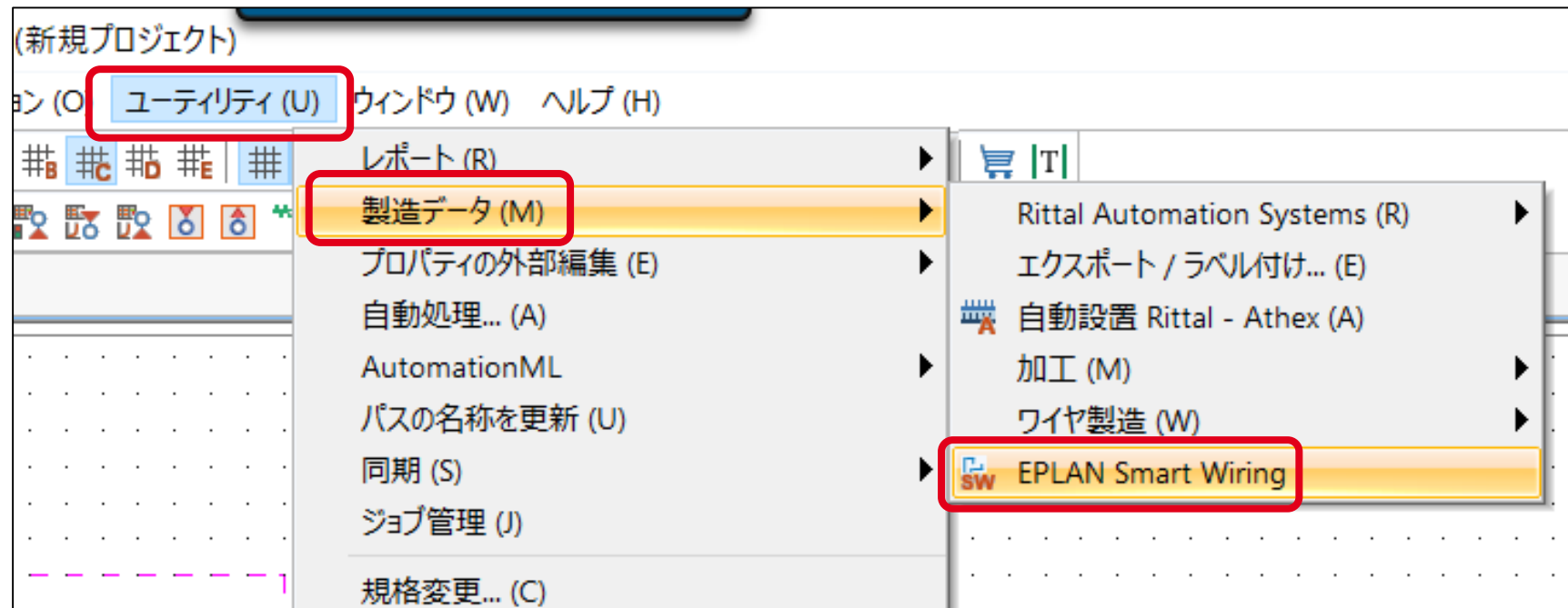
GLOBAL SUPPORT

EPLAN SMART WIRING → EPLAN Smart Wiring の製造データのエクスポート



変更点:

- **EPLAN Smart Wiring**の製造データは別のインターフェイスを介して、EPDZファイルにエクスポートされます。
ユーティリティ > 製造データ > EPLAN Smart Wiring



EPDZファイルには、プロジェクトプロパティ、ページプロパティ、レイアウトスペースプロパティ、完全なプロジェクト構造、ルーティング接続の接続データとケーブルプロパティが含まれています。

EPLAN SMART WIRING → V2.9 クライアント → Layout Space Selection



変更点:

- V2.9からの新しいインターフェイス

Пространство листа	Статус
+A1 (A1)	174
+A2 (A2)	330
+B2.Y1 (B2.Y1)	23
+B1.X1 (B1.X1)	12
+B2.X1 (B2.X1)	18
+B3.X1 (B3.X1)	12



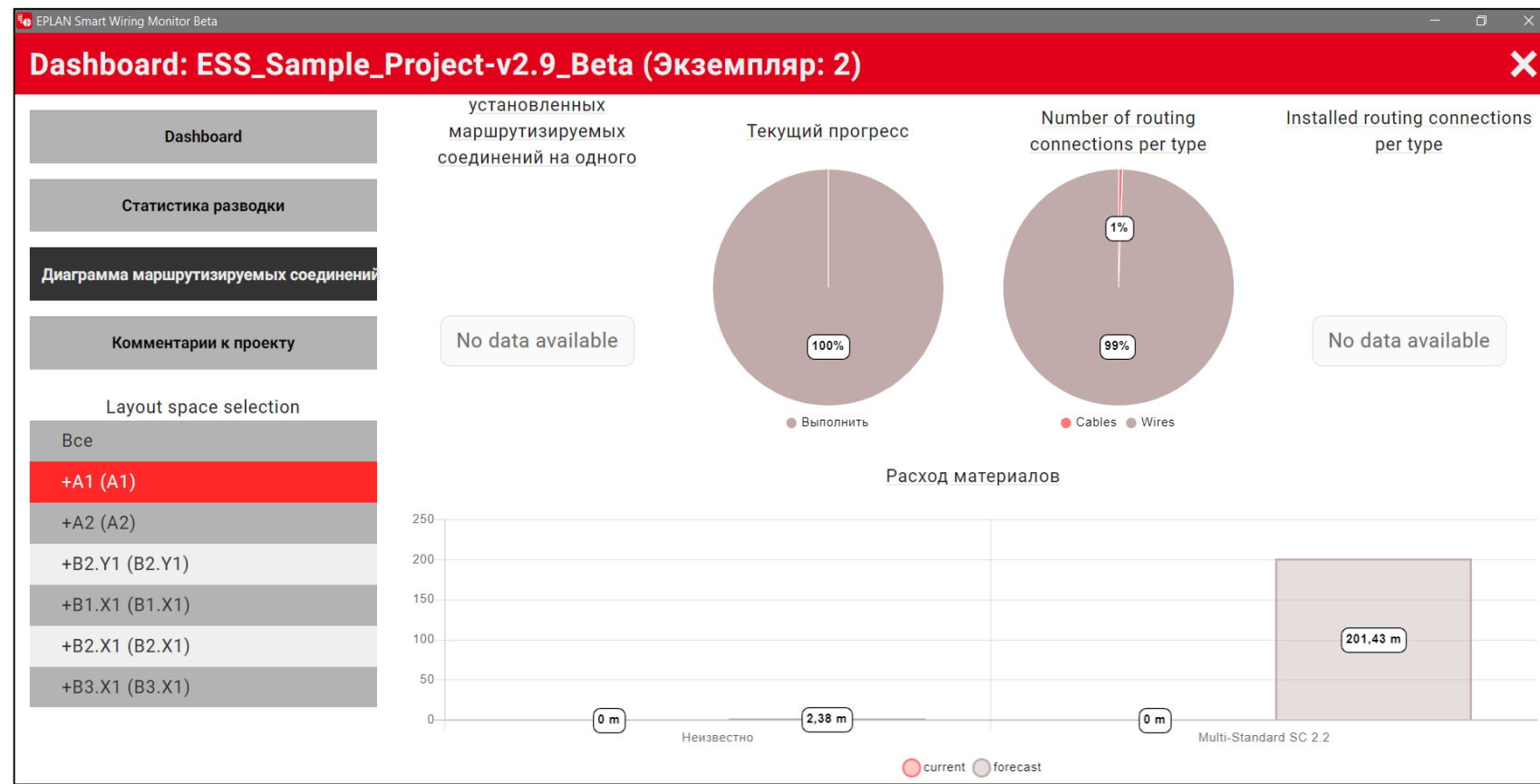
リストからわかりやすく選択できます。

EPLAN SMART WIRING → V2.9 モニター表示



変更点:

- V2.9からの新しいインターフェイス



異なるプロパティもわかりやすく選択できます。